天天中文シリーズ講座:中国語でキャリアアップ!

「中国語でキャリアアップ!」は中国でキャリアを発展させる各界の方々に、仕事の現場や中国語学習法についてお話を伺う「天天中文」のシリーズ講座。今回はスピンオフ企画として「天天中文」でも活躍する3人のパネラーに中国の教育現場についてお伺いします。

第3回(2021年11月26日)

パネラー:

李爽 遼寧大学大学院生(天天中文講師) 1998 年生まれ、遼寧省の省都、瀋陽出身。大連での学生生活を経て現在は瀋陽に戻る。どちらかといえば自分から進んで勉強するタイプだったため、両親からは勉強について厳しく言われた経験はなし。趣味は料理と音楽。

趙雪萌 ハーバード大学卒 就職活動中 (天天中文講師) 1998 年生まれ。山西省の小都市を経て、中学校から山西省省都、太原へ引っ越し。小学校時代は現在の中国ほど補習の塾が多くなかったこともあり比較的のびのびと過ごす。両親が共働きだったため、子供時代は母方の祖母が面倒をみてくれた。論理的、批判的な思考能力を伸ばしたく、アメリカの大学に進む。趣味は読書と旅行。

晏菁菁 北京第二外国語大学 3 年生 (天天中文サポートチーム) 2001 年生まれ。陝西省の小都市出身、中学校によりよい学習環境を求めて一家で引っ越し。現在は北京で学生生活をおくる。日本語専攻だが、将来は大学院で法律を学び、日本語と法律の専門を生かした仕事をするのが目標。趣味はスポーツ。

<お話の流れ>

猛勉強で大学受験/将来の夢は/日本語を選ぶ理由/高校生の恋愛は禁止?!/学費事情は?

天天中文:最初に中国の教育制度ですが、6,3,3,4制、小学校6年、中学校3年、高校3年、大学4年です。義務教育は小学校、中学校の9年間になっています。但し中国の場合は、全額学費が免除ではなくて、農村部の生徒のなかには中学校の学費が払えなくて小学校で終わってしまう人が少なくないようです。そして都市部にでてきて「農民工」として働いている人もいます。

学校は公立のほか、「私立」またそのなかでも特別に高い費用を払う「貴族学校」と呼ばれるような学校もあります。高校進学時には「普通高校」か「中等専門学校」の選択に分かれます。そして「普通学校」にいった人が中国語で「高考」と呼ばれ、毎年6月上旬に行われる大学入試統一試験を受けます。ここの点数が人生を左右する、とも言われていますが、さてパ

ネラーの方々に大学入試について聞いてみましょう。では、まず李さん、大学入試の準備について聞かせてください。

猛勉強で大学受験

李:とても厳しいものでした。高校三年生になると、「晩自習」という制度があり、全員が学校で食事をして夕方17時から21時まで勉強します。そしてスクールバスに乗って帰ります。バス亭に母が迎えにきてくれて、一緒に帰宅していました。「晩自習」の時には、生徒の保護者のなかから、毎日交代で2人が学校にきて、生徒を見守る役をしていました。例えば勉強に疲れて居眠りをする生徒がいると、そこにいる当番の保護者が、ある程度休ませたところで時間を無駄にしないよう、起こしたりするんです。朝は7時前後にまたスクールバスに乗って学校に向かい、また勉強が始まります。高校1年2年には体育や音楽の科目もあるのですが、高校3年になるとなくなり、専ら受験勉強でした。1年2年の時には「社団」と呼ばれる日本のクラブ活動に似た組織もあり、アニメや音楽の活動をしている生徒もいましたが、3年生になるとそれもやめて勉強に集中します。

晏:私も李さんとほぼ同じです。高校1年生2年生の時は音楽や体育もありましたが3年生の時はなくなり、大学受験のプレッシャーがとても大きいです。高3の時は朝5時過ぎに起きて学校では7時半から勉強が始まり、毎週月、火、水曜は夕食の前にテスト。その後、17時から21時まで学校で勉強します。私の学校では自習は少なくて夜も先生が授業をしていました。

天天中文:大学統一試験の時は、中国では「××大学を受ける」というのではなくて、まず統一試験を受け、自分の得点の結果がでてから、大学に申し込み、という制度と聞いていますが、試験の結果、志望校の合格ラインに達しない場合もありますよね。晏さんは現在、北京第二外国語大学ですが、最初からそこが志望校で、その合格ラインの点数がとれたということなのでしょうか?

晏:はい、そうです。合格ラインに達しない場合で翌年また統一試験を受ける人もいて、そういう人は「復読生」と呼ばれます。私の出身校はそういう人は少なかったですが、ニュースなどをみると、「復読生」を専門に教育する学校もできているようです。

天天中文:大学受験時には、合格後の専攻もあらかじめ考えておくのですか?

李:私の場合は、高3時代はとにかく統一試験で良い成績をとることだけ考えていました。 得点の結果が出てから専攻を考え始めました。

天天中文: 李さんや晏さんは日本語専攻ですが、日本語専攻の学生は、私の印象では半分くらいが大学院へ進学しますよね。どうしてそんなに大学院を目指す人が多いのでしょうか?

晏:大部分の人は大学院で日本語を継続して勉強します。いまは大卒の人はとても多いので 大学だけだと就職の時に競争力が弱いです。専攻にもよると思いますが、私は日本語に関し ては大学だけだと専門性が弱いと思っています。

将来の夢は

天天中文:皆さんは将来についてはどんな計画を建てていますか?

趙:私は実はすでに日本での幼児教育関係の就職が決まっていて来年、日本にいく予定です。 (趙注:オフ会の後、日本のコロナの水際対策の影響もあり、日本での就職を諦め、上海での 就職を選択)私は主に教育プログラムの開発を担当します。将来については私は翻訳に興味 があり、英語と中国語の翻訳の資格をとり、言語学と心理学関係の翻訳をしたいと思ってい ます。またこれまでアメリカ留学を希望する学生の学校の選択や申請に関するサポート、コ ンサルティングをしていたのでそれも継続したいですし、天天中文の講師も続けたいと思っ ています。

私の日本語はアメリカで勉強したものなので、これからも日本でも勉強したいですね。

李:まだ決まっていないですが、日本語の先生でしょうか……。いまアルバイトをしていろいろな仕事を体験してみるようにしています。

晏:私は大学院に進み、法律を学びたいと思っています。将来は日本語と法律を生かした仕事ができたらと思っています。

* * * 天天中文の会員からの Q&A

日本語を選ぶ理由

会員:日本語の専攻を選んだお二人に、選んだ理由をお伺いしたいです。

晏:私は高校の時から日本のACG(アニメ、コミック、ゲーム)文化が好きだったので。

李: 私もアニメからです。小さいころから「名探偵コナン」などを見ていました。その時は日本語専攻という考えはなかったのですが、高校の時、改めて日本語を勉強したいと思いました。

天天中文: 趙さんについては、なぜハーバードを選んだのでしょう?

趙:ハーバードの言語学と心理学は素晴らしい、というのが理由です。

高校生の恋愛は禁止?!

会員:中国では大学に進学するまでは恋愛が禁止、と聞いていて、中国のテレビドラマをみていても、それが見つかって先生にものすごく怒られているシーンがあったのですが、本当にそうなのでしょうか?

晏:はい、高校までは恋愛は禁止です。でもこっそり恋愛をしている人もいます。見つかった ら先生に呼ばれて「あなたたち、別れなさい」みたいなことになります。

李: 私の学校でもこっそりつきあっている人はいました。 見つかっても強制的にやめなさい、 というのではなく、「やめたほうがいいですよ」と言われます。

会員:私も中国のテレビドラマを見ていて、机の上に 30 冊くらい教科書を積み上げていて、 勉強するスペースが凄く少ない、という場面を見たことがあるのですが、本当にそうなので しょうか?

李:そうです。実は机の上に置くのはよく使う教科書で、机の下にも引き出しがあってそこ にもたくさん教科書が置いてあるんです。

会員:中国でも高校ではクラス替えというのがあるのでしょうか?またクラスのなかの席順は、例えば成績順など、どのような方法で決めるのでしょうか?またクラス全員が参加する SNS のグループチャットのようなものはあるのでしょうか?

趙:高2の時に文系と理系に分かれるクラス替えがあります。1クラスはおおよそ50人前後で席順は身長順でした。連絡にはクラス全員が加入するQQのグループがあったかと思います。

晏: 私の学校では、クラスをいくつかのグループにわけて、そのグループごとに毎週、席が動くようになっていました。また高校時代は携帯所持禁止だったのでクラス全員のグループチャットはありませんでした。

会員:みなさん、携帯電話を所有したのはいつからでしょうか?

趙:携帯は中学生時代に、ノキアを使い始めました。高校生になってからはファーウェイで した。

李:私は高校時代から、先生や自分の親との連絡が便利でした・

晏:私も中学時代から持っています。

会員: さきほど李先生が先生と携帯で連絡する、とおっしゃっていましたが、先生とは何を 連絡するのでしょうか?

李:はい、スクールバスが渋滞があったりすると、遅刻することを先生に伝えたりします。

会員:いまの学生さんにとって、人気の学部、専門というのはありますか?

李:やはり IT についての専門の人気が高いです。

晏:コンピュータやメディアに関する専攻は人気があります。

会員:シンガポールですと英語のほかに、早い時期から中華系の人なら中国語、マレー系の 人だとマレー語、というように第二外国語を学ぶのですが、中国では第二外国語はいつから 学ぶのでしょうか?

趙:大学以前の外国語教育では、中国の「国際学校」では、第二外国語を勉強していると思います。アメリカでは高校生で中国語やフランス語など外国語を学んでいる生徒がたくさんいました。私の場合は大学では言語学専攻で外国語の習得が必須だったので、日本語を選びました。

学費事情は?

会員:いま日本語学校で中国人の留学生に日本語を教えているんですけれど、日本語学校もかなり学費が高くて日本の私立の中学、高校くらいの学費はするのですが、みなさんアルバイトもしないで、そのあと塾にも行ってそれも兄妹できていたりするので、お金持ちだなあと思うのですが、中国の方で日本に留学するのはお金持ちの子弟が多いのでしょうか?それとも普通の家庭の方なのでしょうか。

趙:そうですね。私はお金持ちの家庭というわけではなくて、アメリカに留学時代は、先生のアシスタント、就職相談室のインターン、ハーバードの図書館での司書、それに夏休みには中国の高校生に心理学とか英語を教えて生活費や学費を稼いでいました。

李:中流家庭だと、学費は親からもらって、生活費はアルバイトで自分で稼ぐ人が多いと思います。アルバイトしないのは恵まれている一部の人だと思います。

天天中文:中国では2割が「勝ち組」だとしても、3億人以上になりますから、お金持ちが ものすごく多い印象に見えますね。そういうことかもしれません。

会員:日本ではいま大学生がお金がなくて勉強を続けられないというケースも少なくないのですが、中国では大学院に行く人も多いですよね?みなさん、学生ローンを組んでいくのでしょうか?

李:中国では大学院はほとんど公立なので学費はそれほど高くないんです。学費の問題で退学する人はほとんど聞いたことがないです。私の場合は年間学費8000元は両親が出してくれていますが、院生には全員毎月600元、国からの補助が支給されます。それが1年で約6000元になりますし(李注:支給対象は全日制大学院生。一年間における在学期間10か月のみ支給)アルバイトもしています。

晏:大学生は年間の学費が 5000 元ですが、そのほか、寮費が 1 年で 900 元です。大学生には 国家の補助はありません。

天天中文:日本に比べ大学院は進学しやすさもあるのでしょうか。中国では教育にお金がか けられているようですね。みなさん、今日はありがとうございました。